

# 「凄いマツダ車(電気自動車は環境に悪い!?)」

## 研究目的

自分は車が好きで、車好きとしては昨今の環境問題のせいで電気自動車ばかりになるのは面白くない。なのでガソリン車の技術がとても高いメーカーを考えたときにマツダが一番に思い浮び、環境にいいガソリン車という選択があるのであるということで調べた。

## 根拠や考えを証明する研究の方法

インターネットのサイト(Wikipediaやマツダ公式サイト)を参照

## 考察

- ・現段階では電気自動車よりマツダのガソリン車(ディーゼル車)の方が圧倒的に環境にいいと思う
- ・それを証明することで皆の車に対する環境的な意識が変わればいいと思う

## 結論(仮説に対する解答)

・マツダの新型エンジン「SKYACTIV-X」は実際少ない燃料で最大の駆動力を実現し、排ガスもとても少なく環境にいい

・現段階では電気を作る過程がどうしても環境に悪く、電気自動車用のバッテリーを作るのは非常に環境負荷がかかる

・電気自動車のバッテリーの寿命は五年ほどであり、しかもバッテリーには環境を汚染する物質が多く含まれており、捨てるだけで環境破壊である。

・マツダのディーゼル車は燃費が燃費が20km近くある。しかもディーゼル車は燃料を日本で現在有り余っている軽油を使うのでコストがかからない

・マツダと工学院大学の調査によると、車の製造までを含めたCO2排出量は走行距離約11.5万kmまではバッテリーの生産時CO2が多いBEV(電気自動車)のほうが、ディーゼルやガソリン車よりも排出量が多く、そこからは電費のよさでBEVが逆転するが、16万kmでリチウムイオンバッテリーを交換するため、そこからは再度逆転してエンジン車のほうが排出量が少なくなる。

## 参考文献、画像

[マツダ・SKYACTIV-X - Wikipedia](#)

[マツダ - Wikipedia](#)

[ディーゼル、EV、ガソリン 本当にエコなのはどれだ!!! これで決着!??](#)

[マツダ・CX-3 - Wikipedia](#)

[ファイル:2019 Mazda3 SE-L 2.0 Front.jpg - Wikipedia](#)

[File:2018 Tesla Model S 75D.jpg - Wikimedia Commons](#)



SKYACTIV-Dを搭載した車種 CX-3



世界初の圧着発火エンジン、SKYACTIV-Xを搭載した車種 MAZDA3



大手電気自動車メーカーテスラの車種 テスラ・モデルS